

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価

チェック項目			○	△	×	改善点他
環境 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			新しい利用者の休憩や余暇時間の適切な過ごし方を探りたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			
	3	生活空間は子どもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	4	2		
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか。	6			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		職員から常に意見を聞けるような体制づくりを心掛ける。
	7	保護者向け評価表により、保護者の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか	6			
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			本人、家庭、学校、放デイそれぞれの課題があるので、分けて整理することも必要。プログラムをある程度固定することで、利用する生徒は見通しをもって参加できている。一方で、新たなプログラムを開拓できるように、情報収集を努力する。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子ども支援にかかわる職員が共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」および「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	5	1		
関係 機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	6			関係機関との情報交換を密に行うと同時に、状況が変更
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			

関 や 保 護 者 と の 連 携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			した時に必要な書類が整っているかを確認する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	5	1		
	31	児童発達支援センターと連携し、必要に応じてスーパーバイズや助言、研修を受ける機会を設けているか	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		
	33	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		
	34	日頃から子供の状況を家族と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族が参加できる研修の機会や情報提供を行っているか	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 責 任	36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			毎月の利用予約表で、必要な情報を発信する。（発信する内容が少なかったと思う。）また、必要に応じて、支援に関する説明は個別で丁寧に行う。
	37	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益優先の観点をふまえて子どもや保護者の意向を確認する機会を設けているか	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		
	40	保護者の会の活動を支援したり、家族会等を開催したりして、きょうだいを含めた家族同士の交流する機会を設けているか。	4	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	43	個人情報に十分注意しているか	6			
非 常 時 の 対 応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			各種マニュアルを共有する。引き続き、情報収集をして、危険予測ができるようにしたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		
	48	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じるなど、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		